

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成28年1月21日(2016.1.21)

【公開番号】特開2014-104239(P2014-104239A)

【公開日】平成26年6月9日(2014.6.9)

【年通号数】公開・登録公報2014-030

【出願番号】特願2012-260647(P2012-260647)

【国際特許分類】

A 6 1 F 2/16 (2006.01)

A 6 1 L 27/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 2/16

A 6 1 L 27/00 D

【手続補正書】

【提出日】平成27年11月27日(2015.11.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定の屈折力を有する光学部と、該光学部を眼内にて保持するための支持部とを有する眼内レンズにおいて、前記光学部はアクリル系樹脂またはアクリルアミド系樹脂からなり、前記支持部はアクリルアミド系樹脂からなり、

前記光学部及び／または前記支持部に用いられる前記アクリルアミド系樹脂は、アクリルアミド系親水性モノマー及びアクリル系疎水性モノマーとを架橋剤の存在下にて共重合することによって形成されていることを特徴とする眼内レンズ。

【請求項2】

前記アクリルアミド系親水性モノマーはN,N'-ジメチルアクリルアミドであることを特徴とする請求項1に記載の眼内レンズ。

【請求項3】

前記光学部及び支持部の組成物として用いられる前記アクリル系疎水性モノマーは炭素数12~18のアルキル基またはその誘導体を側鎖に含むアクリレートであることを特徴とする請求項2に記載の眼内レンズ。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記課題を解決するために、本発明は以下のような構成を備えることを特徴とする。

(1) 所定の屈折力を有する光学部と、該光学部を眼内にて保持するための支持部とを有する眼内レンズにおいて、前記光学部はアクリル系樹脂またはアクリルアミド系樹脂からなり、前記支持部はアクリルアミド系樹脂からなり、前記光学部及び／または前記支持部に用いられる前記アクリルアミド系樹脂は、アクリルアミド系親水性モノマー及びアクリル系疎水性モノマーとを架橋剤の存在下にて共重合することによって形成されていることを特徴とする。

(2) 前記アクリルアミド系親水性モノマーはN,N'-ジメチルアクリルアミドであることを特徴とする。

(3) 前記光学部及び支持部の組成物として用いられる前記アクリル系疎水性モノマーは炭素数12~18のアルキル基またはその誘導体を側鎖に含むアクリレートであることを特徴とする。